

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活共同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	長岡市内で複数の診療所や多数の高齢者施設を運営する医療生活協同組合が平成19年に開設した小規模多機能型居宅介護施設である。認知症対応型共同生活介護が併設されている他、同じ法人の介護付(混合型)有料老人ホームも隣設されており、互いに協力・連携して運営されている。また、経営母体の診療所とは日頃から緊密な連絡をとり情報を共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。
事業所名	プラット笹崎	管理者	田中 太一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人	1人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフ評価や事業所評価項目に対する理解を深めるため、評価前に学習会を開催する。 ●改善計画の取組み状況を、月1回、事業所会議にて確認し確実に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習会を開催し、評価項目を全職員が理解した上で評価を行った。 ●事業所会議にて改善計画の進捗状況を確認し実施に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全職員で目標を意識した支援が行なわれていると感じる。 ●自己評価がしっかり行われ、事業所評価に取り組んでいる事が確認できた。 ●一部の項目において、取組みや把握の方法など、もう少し具体的に計画された方がより良いと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●各項目の改善計画を一覧表にし、職員連絡ノートに貼り付けるなど可視化に努める。引き続き事業所会議にて取組状況を確認し実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●清潔で明るく開放的な事業所になるように、事業所内の掃除や野外の景観を損ねないように管理していく。 ●四季折々の植物を花壇などに植え、地域の方々が気軽に立ち寄れる環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員による日常の清掃の他、業者による定期清掃を取入れ、事業所を清潔に保てた。 ●菜園を開設したり、季節の植物を植え、利用者から四季を感じていただいた。また近所の小学生が水やりに来ていただき交流が生まれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染予防のため、常に換気と消毒を行っているとのこと。 ●菜園や花壇など季節感ある取組みをされている。 ●ご利用者の様子をホームページや広報誌で拝見しました。穏やかな表情や笑顔が多く、居心地良く過ごされていると思います。 ●施設に立ち寄ってもらう事は、コロナの影響で厳しいと思うが、入りやすい雰囲気作りされている様子は伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者と接する時には表情や声のトーン等に留意するとともに、言葉遣いにも気を付け、利用者の気持ちが落ち着き過ぎやすい環境となるよう努める。 ●定期的に換気や消臭を行うことで、不快を感じない環境作りに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ●地域向け広報誌に事業所の概要を掲載し、地域の身近な事業所である事をお知らせする。 ●地域の方を対象にした認知症カフェや地域食堂の運営に協力するとともに利用者と職員が参加し、地域との関係を築き上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●年4回、地域向け広報誌にて、小規模多機能型居宅介護事業所の概要や事業所の活動を報告し、身近な事業所である事を発信した。 ●新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点により、開催が中止、延期となり地域の方と関われなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍で施設からの発信や働きかけが難しい中、日常の様子や行事など広報誌で拝見し、安心している。 ●利用者家族アンケート結果で、親切丁寧に対応されていると感じました。 ●広報誌は幅広い年齢層の方が読まれる内容だと思います。その成果が地域の方の利用に繋がっていると感じました。 ●利用者家族アンケート結果を拝見し、職員の挨拶が適切であることを確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所内行事や様子を広報誌の他、ホームページに掲載し、雰囲気や様子を発信し、事業所を知っていただける機会を増やす。(ホームページをリニューアルする。)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議には職責の他、地域連携班も参加し、地域のイベント等の情報を収集し利用者と職員が参加できるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点により、運営推進会議は書面での開催とし職員が参加し情報収集できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●少しずつ外での活動の機会が設けられていると思います。 ●地域への定期的なお知らせを継続的に行っていると思います。 ●地域行事や町内清掃に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括支援センターや利用者個々が暮らしている地域の方々から催しや行事などの情報をお聞きし希望する地域行事に、職員と一緒に参加する。 ●四季が感じられるようにドライブに出かけたり、馴染みの飲食店の持ち帰りて食事を楽しんでもらう。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議の案内、会議録を家族に配布し、案内には意見や困りごとを記載する欄を設ける。記載内容を会議にて報告し検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議資料を本人や家族に配布し、事業所への意見や要望をお聞きした。その内容を事業所の会議で報告・検討し、運営に反映した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書面会議にて現状報告や活動内容は把握できている。 ●活動の様子など写真で拝見できればと思います。 ●意見や質問に関する返答をもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●法人が定期に開催している認知症カフェに職員が参加し、介護相談や地域の方々の困りごと等をお伺いして、その内容を運営推進会議で検討する。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所で実施する「防災訓練」「AED講習会」に地域の方にも参加してもらえよう、地域向け広報誌にて案内する。 ●原子力災害時避難訓練を継続し実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点により、事業所での行事に地域の方をお誘いしなかった。 ●職員安否確認システムにて、原子力災害時避難訓練（職員等の安否確認、復旧要員確保）を実施し、理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナの影響で地域の防災訓練が中止となりましたが、今後も連携や情報共有をお願いしたい。 ●訓練などの様子を広報誌で拝見し、災害に対する備えがされていると感じた。 ●運営推進会議の資料で、訓練の概要や訓練後の課題など記載があると、状況がわかりやすいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き防災訓練等を定期的に行い、有事の際には全職員が適切に対応できるよう避難場所や避難経路の周知に努める。